

日本の祭りinなら・かしはら2019

9月28〜29日、榎原市で盛大に開催(地域伝統芸能活用センターなど主催)

「日本の祭りinなら・かしはら2019」が9月28〜29日、奈良県榎原市の榎原文化会館をメイン会場に開かれた。海外も含め約30の祭りが上演され、観覧者を楽しませた(10月5日付既報)。主催は第27回地域伝統芸能全国大会「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会なら・かしはら」実行委員会、奈良県、榎原市と地域伝統芸能活用センター。ここでは当日の様相を写真で紹介する。

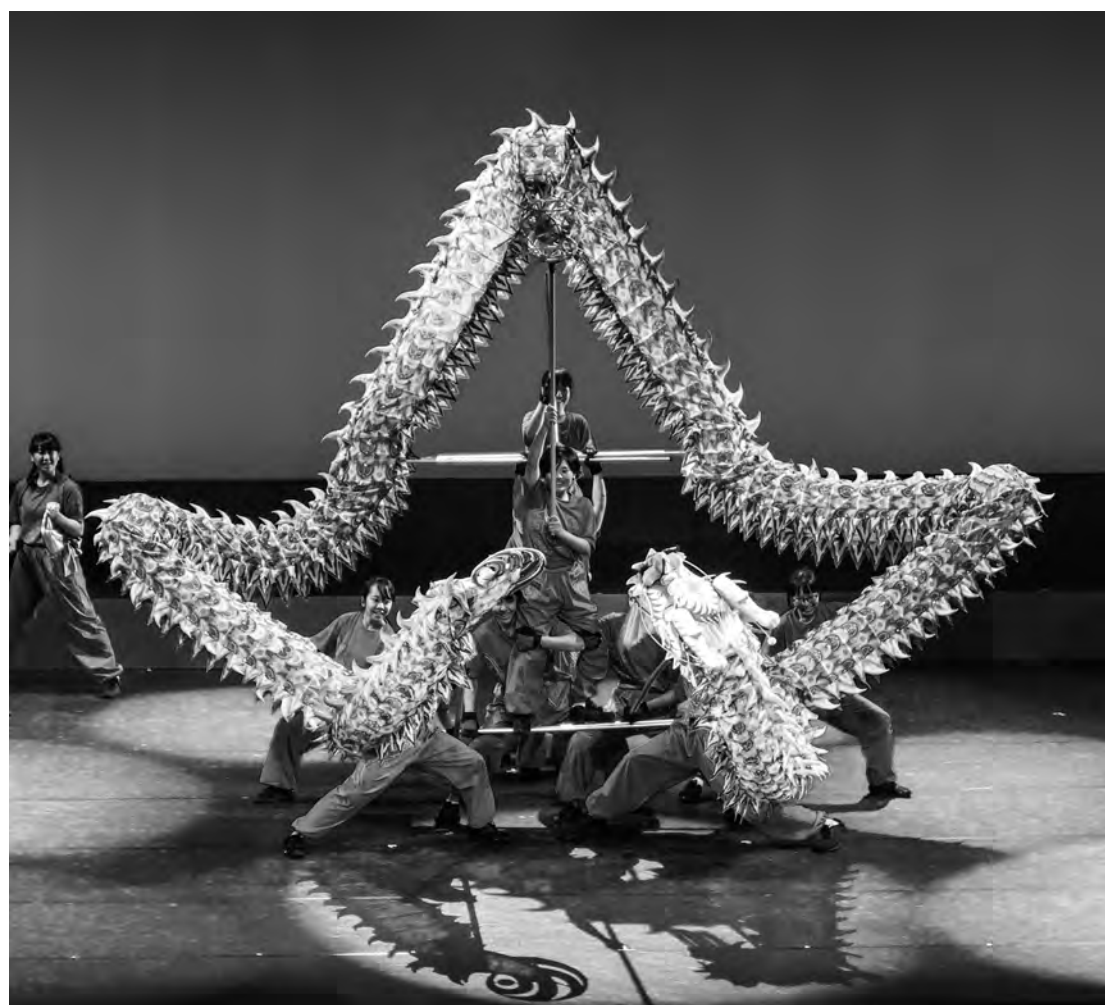
▲春日若宮おん祭りの神事芸能(奈良市)



子どもたちが打つ太鼓で迎えられる高円宮妃殿下(右)



▶平戸神楽(長崎県平戸市)



▲神港橋高等学校龍獅團による南獅獅子舞・福州龍舞(神戸市)



▲東京高円寺阿波おどり(東京都杉並区)

約30の祭りを上演 文化の力で日本を元気に



▲十市と今井のだんじり行事(榎原市)



▲清沢の神楽(静岡市)



来年は11月28〜29日、静岡市で

次の開催地となった静岡からはご当地ゆるキャラも出席し、アピールした

春日若宮おん祭保存会が受賞

高円宮殿下記念地域伝統芸能賞

28日、メイン会場の「い」とのお言葉を述べ、原文化会館で開催記念式典が行われた。式典には地域伝統芸能村代表者、榎原市長、活用センターの代表者、高円宮殿下記念地域伝統芸能賞を受賞した春日若宮おん祭保存会(奈良市)が受賞した。春日若宮おん祭は、春日若宮神社の祭りで、保延2(1136)年に開いた藤原忠通により斎行されたのが始まりとされる。日長の古い伝統芸能を集約したような祭りで、国の重要無形民俗文化財に指定されている。地域伝統芸能大賞のうち、「保存継承賞」に平戸神楽振興会(長崎県平戸市)、「活用賞」にNPO法人東京高円寺阿波おどりの振興協会(東京都杉並区)、「支援賞」に丸尾万次郎さん(奈良市)、「地域振興賞」にあらしやげ会(鹿児島県奄美市)が受賞した。また、「地域伝統芸能奨励賞」は神戸市立神港橋高等学校龍獅團に贈られた。



中村会長(左)から表彰される春日若宮おん祭保存会の関係者